

100年の歴史を感じながらお花見を…



大山緑地「千本桜」

桜の季節になると市内外からの多くの花見客でにぎわう「大山緑地」。いつごろから桜の名所となったのか明確ではないが、「高浜市誌」によると、大正8年(1919)から4～5年かけて、町民有志が桜の植樹を行ったとの記録が記されている。また、昭和14年(1939)の資料「春日神社鳥瞰図」にも桜の木が描かれていることから、長きにわたって桜の名所として愛されてきたことが伺える。

かねてから「千本桜」と称されてきたが、「果たして本当に1,000本も桜の木があるのだろうか…?」—そんな長年の疑問を解消しようと、平成21年(2009)に高浜まちづくり協議会では、子どもたちといっしょに桜の本数を数えるイベントを行った。結果は「849本」。その後、名実ともに1,000本になるようにと考え、桜の里親を募集し、苗木を植樹・育成する活動が続いている。

桜の里親である山野喜代美さん(春日町)は「植樹に参加したときに小学生だった子どもが、高校生になりました。自分たちが植えた桜の木も、昨年はたくさんの花が咲きました。まだまだ小さな木ですが、いつの日か子どもの成長とともに「千本桜の中の1本」として、大きく育つことを楽しみにしています。」と話してくれた。

今年のライトアップは3月28日(月)～4月10日(日)午後6時～9時30分の予定。今年は、歴史の移ろいに想いを馳せながら、桜を眺めてみてはいかがでしょうか。

“撮っておき” の たかはま

【第53回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください!(P.17)

広報たかはま
編集・発行／高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。



広報たかはまは植物油インキを使用しています。